

# 県民スポーツ活動の振興

スポーツ活動は、県民が健康で明るい家庭、豊かで活力ある郷土を建設する基盤であるとの観点に立って、昭和50年から県民総スポーツ運動を進め、ファミリースポーツやコミュニティスポーツなどの振興を通して、県民がスポーツ活動に参加できる機会の拡充につとめてきました。また、県民の体力づくり、憩いの場として活用できるよう昭和47年から整備を進めてきた県民総合運動公園は、現在おおかたの完成をみたところです。さらに、熊本県の体育、スポーツの拠点として全国大会や国際大会の開催、県民の運動能力相談や指導者育成などをはかる県民総合体育館も完成しました。



# 個性豊かな 県民文化の振興

芸術文化の振興と文化財の保護については、県民が広く芸術や文化、あるいは、先人の残した文化遺産に接する機会を提供するとともに、積極的に文化活動に参加する気運を醸成してきました。このなかで、県民の美術に関する知識の向上と美術教育普及活動の拠点として、昭和51年に県立美術館を開館しましたが、本館は永青文庫核として春秋の企画展、巡回展のほか、国際展、国内の近現代の共催展など各種展覧会を開催し、これまで131万6千人（57年3月末）の入場者があっています。また熊本県文化振興の拠点となることを期して建設を進めてきた県立劇場の完成もまぢかになっています。さらに、郷土における歴史的、風土的特性をあらわす史跡などが多く存在する地域を広域的に保存することを目的とした

風土記の丘整備についても、いま実施計画を作成中であり、その整備促進をはかっているところです。

